

HIV

別名：ヒト免疫不全ウイルス、HIV／エイズ

ヒト免疫不全ウイルス（Human Immunodeficiency Virus：HIV）は免疫システムを攻撃し、人体が感染症と戦うのを困難にさせてしまいます。HIVは、ウイルス検出限界を上回る量のHIVを保有している人の体液（血液、精液、膣液、腸液など）を通して感染し得るウイルスであり、通常はコンドームを使わないでセックスをしたり、注射器を使い回したりすることで感染します。

重要ポイント

- HIVは血液や精液、膣液、肛門内の粘液、そして母乳の中に存在します
- HIVはコンドームを使わないセックスの最中や、ドラッグ用の注射器を使い回したときに、人から人へうつる可能性があります
- 感染者の中には、発熱や喉の痛み、腺の腫れ、筋肉痛など、インフルエンザのような症状が出る人もいます
- HIVに感染した状態で生活する人々が健康な暮らしを続けられるようにする、非常に効果的な治療法が利用できます
- HIVを完全に治癒する方法はありませんが、感染リスクが高い人にはHIVへの感染を予防する薬（PrEP）があるほか、リスク行為の事後に感染を予防する薬（PEP）もあります

HIVとは？(What is this?)

HIVとエイズは同じものではありません。HIVに感染して治療をせずにいると、エイズの発症につながる可能性があります。現在では非常に効果的なHIVの治療を受けられるようになっており、オーストラリア国内でのエイズの発症は今では極めてまれなことです。

HIVにはどのようにして感染するのか (How do you get it?)

HIVの陽性反応が出ている人とコンドームを使わないでセックスをしたり、ドラッグ用の注射器を使い回すと、HIVに感染する可能性があります。

HIV は、つぎのような行動で人から人にうつる **可能性があります** :

- コンドームを使わない膣性交もしくはアナルセックス
- ドラッグ用の注射器の使い回し
- 妊娠、出産または母乳授乳（出産する母親もしくは母乳授乳する親が HIV を保有している場合）
- 注射針等による刺し傷／針刺し損傷（主に医療従事者による）

つぎのような行動により HIV に感染することは、**ほとんどありません** :

- コンドームが正しく使用された状態での膣性交またはアナルセックス
- コンドームを使わないオーラルセックス
- HIV 感染者の体液の、皮膚への飛沫

つぎのような行動やものを介して HIV に感染したという **報告事例はこれまでありません** :

- キスや、腕を回したり身体を合わせての抱擁
- 握手や社会的な身体接触
- ナイフやフォーク、カップ、グラスなどの共有
- トイレの便座
- 蚊を含む昆虫類

HIV の症状 (What are the symptoms?)

HIV に感染した時にすべての人が症状を発症するわけではありません。また、HIV の症状の多くは他の病気と似通ったものであるため、自分が HIV 陽性になった（HIV に感染した）ことを知るのが非常に難しい場合もあります。

HIV の症状には、つぎのようなものが含まれます :

- 鼻水や鼻づまり、喉の痛み、咳、発熱などのインフルエンザのような症状
- 極度かつ継続的な倦怠感・だるさ
- 発熱や悪寒、寝汗
- 食欲不振と体重の急激な低下
- 首やわきの下、股間にある腺の腫れ
- しつこい咳や乾いた咳
- 下痢

自分が HIV に接触したかもしれないと考えていて、上記のような症状が 1 つでも見られる場合は、医師に相談してください。通常、上記のような症状は HIV に接触してから 1~3 週間の期間に発症します。

HIV の検査方法 (How do you test for it?)

HIV に感染しているかどうかは、血液検査で確認することができます。

HIV 抗体検査と呼ばれるこの検査は、あなたの身体が HIV 感染と戦うための抗体をつくっているかどうかを検出します。

感染者が HIV に接触した後、検査により HIV（ウイルスそのもの）もしくは HIV 抗体を検出できるようになるまでには、短期間の時間が必要となります。この期間は「ウインドウ期」と呼ばれており、通常は感染から 6 週間の時期ですが、ウインドウ期は短ければ感染後 2 週間、長ければ 12 週間となることもあります。

検査結果 (Test results)

HIV 検査の結果が陰性の場合

HIV 検査の結果が「Negative [陰性]」と出た場合は、あなたがつぎのいずれかの状況にあることを示しています：

- HIV に感染していない
- 最近（過去 6 週間以内に）HIV に感染したものの、まだ HIV 感染と戦うための抗体が体内でつくられていない

体内でまだ抗体がつかられていない場合は、ウインドウ期にある可能性が高いため、2～3 週間後にもう一度検査を受けることもできます。

HIV 検査の結果が陽性の場合

HIV 検査の結果が「Positive [陽性]」と出た場合は、HIV 抗体が検出されたということであり、あなたが HIV に感染していることを示しています。

検査結果が陽性だった場合はストレスやショック、怒り、不安を感じたり、うつ状態になってしまうことがあります。このようなストレスに上手く対応することができるように、HIV 検査を実施しているすべての医療機関は、検査前と検査後にカウンセリングを提供しています。

オーストラリアでは、HIV に感染している人も健康に暮らすことができます。オーストラリアでは非常に効果的な HIV 治療を受けることができ、こうした治療は HIV に感染した状態で生活する人々の QOL（Quality of Life：生活の質）や寿命を飛躍的に改善させます。また、HIV に感染した状態で生活する人々が利用できる、様々な支援サービスも用意されています。

HIV 検査の結果が判定不能の場合

まれなケースではありますが、検査結果が陽性でも陰性でもないことがあります。これは *Inconclusive* [判定不能] な HIV 検査結果と呼ばれるものです。

検査結果が判定不能と出た人は全員、再検査を受けることとなります。この場合、検査結果確認の診療の際に、医師または看護師が再検査の手配をします。

最近ハイリスク行為による HIV との接触があった人については、検査結果が判定不能と出るのは、多くの場合、その人が感染のウインドウ期にいることを示しています。2～3 週間後に再検査を受ければ、陰性もしくは陽性の結果が出るはずですが。

HIV 感染リスクが低い方については、検査結果が判定不能と出るのは、多くの場合、*False Positive* [擬陽性] を指します。妊娠や輸血、ウイルス性感染症、自己免疫疾患などの要因が、判定不能の検査結果につながる要素となり得ます。

HIV の治療法 (How is it treated?)

HIV の治療は、ウイルスの増殖（ウイルスが自らを複製すること）を防ぐ薬物による治療です。これにより、感染者の体内にあるウイルスの量が減少されます。この治療法は *Antiretroviral Treatment* [抗レトロウイルス療法] と呼ばれています。

抗レトロウイルス療法の登場により、HIV は糖尿病や高血圧と同じような、管理できる慢性症状へと変わってきました。この治療法は、感染者が長く健康な生活を送れるよう支えてくれるものです。

この治療は感染者の体内のウイルス量を検出限界以下の低レベルまで減少させることができるものですが、これはつまり、この治療を受けている感染者は他の人に HIV を感染させてしまうことがないということです。

HIV 感染の診断が出てからできるだけ早く治療を始めることで治療の効果も高まり、自らの健康や健やかな状態（ウェルビーイング）を守るだけでなく、体内のウイルス量をより早く検出限界以下まで減少させることにもつながります。

注意事項：

- オーストラリア連邦法およびビクトリア州法の下では、HIV 感染者を差別することは、その感染者がどのような人であろうと違法行為です。また、HIV の検査結果は秘密が厳守されます。
- HIV の検査を受ける人、または HIV 感染者についての情報を、本人の明確な許可を得ずに開示することは、開示相手が誰であろうと違法行為です。
- ビクトリア州では法により、HIV を含む感染症を故意または無謀・無責任なかたちで他者に感染させてはならない、と定められています。
- なお、HIV に感染した状態で生活する人々に対する生命保険や一部の国のビザの発給については、制限が掛けられる場合があります。

治療しなかった場合の合併症 (Are there any complications if not treated?)

HIV に感染して治療せずにいると、エイズの発症につながる可能性があります。

しかし、現在では非常に効果的な HIV の治療を受けられるようになっており、オーストラリア国内でのエイズの発症は今では極めてまれなことです。

治療後の再発の可能性 (Is it likely to come back after treatment?)

HIV を完全に治療する方法はまだありませんが、日々の抗レトロウイルス療法でウイルスを効果的に管理・抑制することができます。

自分を守るために (How can I protect myself?)

自らを HIV から守る方法は、たくさんあります。あなた自身とあなたの性的なパートナーのためにきちんと機能する適切な予防策 – 場合によっては複数の予防策の組み合わせ – を見つけなければなりません。

コンドーム (Condoms)

コンドームの使用は、HIV の感染予防策の中でも一番簡単でベストな方法のひとつです。

コンドームは薬局やスーパーマーケット、あるいは性健康・性感染症クリニックや家族計画クリニックなどの場所で、容易かつ幅広く入手できます。また、コンドームの使用には、HIV 以外の STI (性感染症) の予防という追加のメリットもあります。

PrEP

PrEP (pre-exposure prophylaxis : 暴露前予防内服) は HIV に感染していない人向けの 1 日 1 回服用の薬で、HIV 感染リスクを軽減するためのものです。

i PrEP についての詳細情報は、**StaySTIFree** [STI に感染しないために] のウェブサイト (staystifree.org.au) で確認してください。

PrEP の入手先については、**PAN** のウェブサイト (pan.org.au) で確認してください。

PEP

PEP (post-exposure prophylaxis : 暴露後予防内服) も、HIV 予防のために抗 HIV 薬を利用する方法のひとつです。これは、HIV に接触した (暴露した) と明確に把握できている、もしくはその疑いがある行為の後に服用する薬です。PEP は 28 日間にわたり服用する薬であり、HIV への接触から 72 時間以内に服用を開始しなければなりません。

i PEP についての詳細情報は、**StaySTIFree** のウェブサイト (staystifree.org.au) で確認してください。

PEP の入手先については、**Get PEP** のウェブサイト (getpep.info) で確認してください。

定期検査 (Regular testing)

HIV やその他の STI の検査を定期的に行うことは、感染の早期発見につながります。これにより、発覚した感染症の治療を早く受けることができるほか、その感染症を他の人にうつしてしまうのを防ぐことにもなります。

- i** 検査を受けられる場所については、**StaySTIFree** のウェブサイト (staystifree.org.au) で確認してください。

検出限界以下のウイルス量 (Undetectable viral load)

HIV に感染している人でも、抗レトロウイルス療法のための薬を毎日服用することで、パートナー（複数の場合も含む）を守ることができます。

この治療は感染者の体内のウイルス量を検出限界以下の低レベルまで減少させることができるものですが、これはつまり、この治療を受けている感染者は他の人に HIV を感染させてしまうことがないということです。

支援を得られる場所 (Where can I get help?)

- 最寄りの性健康・性感染症サービス機関に行く
- お住いの地域の医師に診てもら
- お住まいの地域のコミュニティ医療センターに行く

StaySTIFree [STI に感染しないために] のウェブサイト (staystifree.org.au) で、性健康・性感染症サービス機関を探してみましょう。

免責事項 (DISCLAIMER)

このファクトシートは一般的な性健康についての情報を提供するものであり、あなたの医師への相談やその医師による診療の必要性を代替する目的で作成されたものではありません。

自身の健康に不安や懸念がある場合は、あなたの医師に相談してください。

緊急の治療やケアを要する場合は、最寄りの救急科に行くか、000 番（救急）に電話通報してください。